

## 30年度 放課後等デイサービス ばくの樹 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しているが、人数が多い時は、室内と屋外で活動をわけている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	通路・トイレが狭く、手すりをつけると車椅での移動や利用に支障があるため改善が難しい
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		職員会議で業務改善の話し合いは行っているが、振り返りが不十分である。今後、改善後の話し合いを持つなど、体制を整えていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	来年度実施する予定
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		子ども達の興味のある活動や季節の行事を取り入れている。ただ、固定した活動プログラムで繰り返し取り組むことも、子どもの成長を促す上で重要と考え、敢えて固定化したプログラムも取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		業務終了時間がそれぞれ違う事もあり、支援終了後の話し合いは出来ていない。その日の支援で気になったことなどがあれば、気付いたことを業務連絡ノートに書き込んだり、その日勤務の職員に伝え、なるべく全職員が共有できるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		複数組み合わせさせて支援を行う様に努めているが、日に寄っては、全員に実施する事が難しい日もある。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談事業所や保護者より、情報提供して頂いているが、実際に保育園や幼稚園と情報共有は出来ていない。今後、より良い支援が出来るように課題として取り組んでいく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	来年度より保護者や学校と連携を取りながら、情報提供できる方法を模索していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	研修に参加している。なるべく全職員が研修を受ける機会が設けられるようにしていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現状では公園で一緒になった時に一緒に過ごしている。事業所の評価表で、交流を希望する保護者が多かったので、来年度はどんな交流を望むのかなど保護者の希望を聞きながら、機会作りに努めていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		近隣地域に協議会等がない。あれば、積極的に参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	行っていないが、今後、外部講師を呼んでペアレント・トレーニングの講演など企画する機会を設ける。
保護者への説明	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			ばくの会の正会員と賛助会員で支援の内容が異なり、正会員の行事ではバス旅行・施設見学会・クリスマス会・ばくの子まつりなど保護者の連携の機会を支援している。保護者会は正会員・賛助会員も参加出来るので、茶話会形式にし、保護者同士話す機会を設けた。
責任等	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	夏祭りの際、地域の子どもの参加を呼び掛けたが参加がなかった。来年度は、あらかじめポスターなどを貼りだす工夫をする。
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回、地震と火災想定した避難訓練を実施している。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内や外部研修に積極的に参加している。今後も、参加できる機会を設けていく。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			今年度から個別支援計画の面談や、契約の際に重要事項説明と合わせて、身体拘束についての説明を実施している。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			